

公益財団活動

取り組みの背景・考え方

Daigasグループの企業ボランティア活動として1981年(国際障害者年)に始まった「小さな灯」運動等で行ってきた福祉活動を、より組織的、継続的に発展させるために、大阪ガスと関係会社、サービスショップ協会、風呂販売協力会、配管工事協会、工友会協議会の362社が基金を拠出し、創業80周年を記念して大阪ガスグループ福祉財団を1985年10月に設立しました。その活動は、高齢者を対象とした地域福祉活動や大学・医療機関で行われている調査・研究に対する「助成事業」と、高齢者の健康の維持・増進を目的とした「健康事業」です。

また、大阪ガス国際交流財団は、1992年9月に大阪ガスが基本財産を全額拠出して設立し、2010年10月に、内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行しました。財団の事業活動を通じて天然ガス産出国との相互理解をより一層深め、国際親善に資することを目的に助成事業に取り組んでいます。

「高齢者向けの健康セミナー」をYouTube配信

2021年度ホームページのリニューアルに合わせて、動画コンテンツ「高齢者向けの健康セミナー」を制作、YouTube配信を開始しました。今後も高齢期の健康づくりに活用できる内容を毎年配信していきます。



高齢者福祉-(公財)大阪ガスグループ福祉財団

1985年にDaigasグループ各社の寄付で設立した(公財)大阪ガスグループ福祉財団は、「高齢者を対象とした福祉活動や調査・研究への助成事業」と「高齢者の健康維持・増進を目指す健康事業」を両輪に、近畿2府4県で活動しています。

2024年度の高齢者福祉助成は63件(714万円)、調査・研究助成は11件(793万円)、健康事業は105回実施し、参加者は5,051人でした。



健康事業：健康のつどい



助成事業：各年度の報告書

各活動の実績(1985年～2024年度累計)

(1) 高齢者福祉助成	3,169件	7億5百万円
(2) 調査・研究助成	682件	4億57百万円
(3) 健康事業	6,315回開催	453,583人参加

国際貢献-(公財)大阪ガス国際交流財団

天然ガス産出国との友好と相互理解を深める

(公財)大阪ガス国際交流財団は、南東アジアおよび大洋州地域の天然ガス産出国との国際相互理解の促進と国際親善への寄与を目的として助成事業を展開しています。2024年度、インドネシアでは、小中学校への教育機材助成、285人の学生・生徒への奨学金支給、3大学におけるエネルギー・環境分野の研究への助成、大学院生2人を対象とした日本での短期研修など、計約1,383万円を助成しました。マレーシアでは、英語教育支援、試験研究助成、大学生12人への奨学金支給など、計約804万円を助成し、東ティモールでは、20人の大学生への計約225万円の奨学金を支給しました。

設立以来32年間の助成実績は、総額6億3,961万円、奨学生数11,168人、助成対象研究テーマ469件となっています。

2024年度には新たな取り組みとしてマレーシアと日本の生徒間でのオンライン交流会を開催しました。今後も新たな活動、助成領域の拡大に取り組んでいきます。



東ティモール大学での贈呈式
奨学生の代表者からの感謝の
スピーチ



マレーシアと日本の生徒間での
オンライン交流会

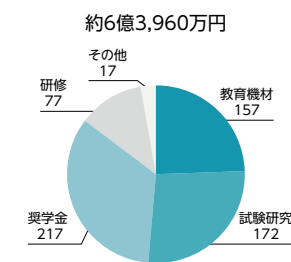


インドネシア ジャンボミンダ財団へ
贈呈書のお渡し

■ 助成活動範囲



■ 累計助成金額(1992～2024年度)



単位：百万円 (公財)大阪ガス国際交流財団

■ 助成金の推多(単年度)

(単位:千円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育機材	1,760	1,973	2,115	2,410	2,436
試験研究	5,049	5,332	6,935	7,176	7,389
奨学金	7,737	8,512	9,564	12,589	10,866
研修	371	313	3,281	3,331	3,429
合 計	14,917	16,129	21,895	25,506	24,120